

令和6年度 あま市国民健康保険 特定健康診査等実施状況報告

あま市国民健康保険では、第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査・特定保健指導実施計画に基づき、国及び愛知県平均と比較して、健診及び医療費の統計分析を行っています。

1. 特定健診等の実施状況

令和6年度の特定健診受診率は43.4%で、令和3年度から低下が続いていた受診率が上昇に転じました。65歳以上の2人に1人が健診を受けている一方で、働き世代(40～50歳代)の受診率が低い状況です。また、特定保健指導実施率は県平均を下回る状況が続いています。案内が届いた方はぜひご利用ください。

特定健診 受診率

43.4 %

前年度 +0.4% 愛知県平均 40.8%

特定保健指導 実施率

18.8 %

前年度 +2.2% 愛知県平均 20.7%

2. 生活習慣病にかかった医療費

被保険者1人当たりの生活習慣病医療費を見てみると、高血圧症や糖尿病、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の治療には多額の費用がかかっていることがわかります。県平均と比較すると、あま市は糖尿病、脳梗塞・脳出血、動脈硬化症の医療費が高い状況です。あま市は糖尿病の有病率(疾患を有している人の割合)も高いため、発症予防だけでなく重症化を予防することも課題になります。

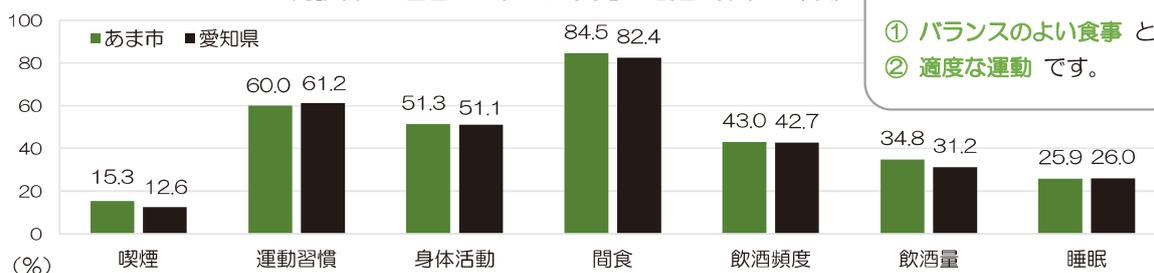
被保険者1人当たりの生活習慣病医療費(令和6年度)



3. 問診項目から読み取れる生活習慣の状況

特定健診における問診項目の回答について分析してみると、県平均と比較して、あま市は「喫煙」している人の割合が高く、「間食」や「飲酒量」が多いことがわかります。また、特定健診の結果でHbA1cまたは空腹時血糖(糖尿病の指標)が高かった人は、正常であった人に比べてその割合が高いため、これらの生活習慣が糖尿病のリスクを上げていることとなります。

問診項目の回答が「リスクあり」の割合(令和6年度)



生活習慣病予防の基本は、
① バランスのよい食事 と
② 適度な運動 です。

問 保険医療課(保健事業グループ) ☎ 462・6683